

改訂日：2023/08/22

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：水垢シャンプー

製品番号 (SDS NO)：08874-K9034

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：自動車ボディの洗浄用

使用上の制限：推奨用途以外に使用しないこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

販売元：株式会社バンザイ

住所：〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

担当部署：営業企画開発部

電話番号：03-3769-6884

FAX：03-3456-4691

製造元：株式会社BTO

住所：〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東5-2-19

担当部署：商品企画部

電話番号：06-6302-5711

FAX：06-6302-5712

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H318 重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

P321 特別な処置が必要である。

P310 直ちに医師に連絡すること。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用し

ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	84133-50-6	8.5	7-97
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール	56539-66-3	1 - 5	2-3079
プロピレングリコールモノメチルエーテル	107-98-2	5 - 10	2-404; 7-97
D-リモネン	5989-27-5	< 0.5	3-2245; 7-988; 8-498

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

プロピレングリコールモノメチルエーテル，
ポリオキシエチレンアルキルエーテル(令和7年4月1日施行)，
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(令和8年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

プロピレングリコールモノメチルエーテル，
ポリオキシエチレンアルキルエーテル(令和7年4月1日施行)，D-リモネン(令和7年4月1日施行)，
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(令和8年4月1日施行)

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

ポリオキシエチレンアルキルエーテル

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

応急措置をする者の保護

保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状注水

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

蒸気を吸入しないために風上に移動する。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

火災の際には適切な呼吸器を着用する。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合:吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。

多量の場合:盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10.安定性及び反応性」を参照

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料
製品の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(水酸化カリウム)

日本産衛学会(1978) (最大許容濃度) 2mg/m³

(水酸化カリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 2mg/m³ (上気道, 眼及び皮膚刺激)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

ACGIH(2013) TWA: 50ppm;

STEL: 100ppm (眼及び上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 液体

色: 黄色透明

臭い: オレンジの臭い

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点: なし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH: 12

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度: 1.02

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性: 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸及び酸化剤と接触すると反応することがある。

避けるべき条件

高温、直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパークを避けること。

混触危険物質

強酸化剤、酸、金属、アンモニウム塩

危険有害な分解生成物

燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

ナトリウム酸化物、りん酸化物、水素、アンモニア

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタ珪酸ナトリウム)

rat LD50=(換算値) 2682-3140mg/kg (SIDS, 2004)

(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)

rat LD50=1700-1913mg/kg (EU-RAR, 2004)

(3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール)

rat LD50>2000, =4400mg/kg (SIDS, Access on May 2012)

(水酸化カリウム)

rat LD50=273mg/kg (SIDS, 2004)

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

急性毒性(吸入)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

vapor: mouse LC50=7395-9258ppm/4hr (SIDS, 2003)

労働基準法: 疾病化学物質

水酸化カリウム

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[製品データ]

[pHに基づく分類根拠]

11.5 ≤ pH であることから、皮膚腐食性/刺激性: 区分1に分類した。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタ珪酸ナトリウム)

ラビット (OECD TG404 GLP) 腐食性 (SIDS, 2004)

(水酸化カリウム)

ラビット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2004; ECETOC TR66, 1995; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1978; PATTY 6th, 2012)

(D-リモネン)

ヒト パッチテスト: 痛みなど (CICADs No.5, 1998)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[製品データ]

[pHに基づく分類根拠]

11.5 ≤ pH であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1に分類した。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタ珪酸ナトリウム)

ラビット (in vitro GLP) 腐食性 (IUCLID, 2000)

(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)

ラビット 軽度の角膜混濁 (EU-RAR, 2004)

(3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール)

ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, Access on May 2012)

(水酸化カリウム)

ラビット 腐食性 (SIDS, 2004; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1978; PATTY 6th, 2012)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

ラビット 軽度の刺激性 (SIDS, 2003)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(D-リモネン)

cat. 1; CICADs No.5, 1998

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
[IARC]
(D-リモネン)
Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(プロピレングリコールモノメチルエーテル)
A4(2013): ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(プロピレングリコールモノメチルエーテル)
麻酔作用 (ECETOC TR95, 2005; SIDS, 2003)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(水酸化カリウム)
cat. 1; ACGIH 7th, 2001; SIDS, 2004

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)

魚類 (ブルーギル) LC50=157mg/L/96hr (121 H4EDTA mg/L/96hr 換算値) (EURAR, 2004)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 >1000mg/L/48hr (EU-RAR, 2003)

(D-リモネン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.421mg/L/48hr (NICNAS, 2002)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖、致死)=28mg/L/21days (22 H4EDTA mg/L/21days 換算値) (EURAR, 2004)

水溶解度

(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)

100 - 110 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)

(水酸化カリウム)

110 g/100 ml (25°C) (ICSC, 2010)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

非常によく溶ける (ICSC, 1997)

(D-リモネン)

非常に溶けにくい (25°C) (ICSC, 2005)

残留性・分解性

[成分データ]

(3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール)

BODによる分解度: 110% (既存点検, 2003)

(D-リモネン)

急速分解性なし (BIOWIN)

生体蓄積性

[成分データ]

(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)

log Pow=5.01 (calculated) (ICSC, 2006)

(3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール)

log Kow=0.18 (SIDS, 2005)

(D-リモネン)

log Pow=4.2 (ICSC, 2005)

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 3266
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
容器等級 : II
指針番号: 154
特別規定番号 : 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 3266
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
容器等級 : II
特別規定番号 : 274

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 3266
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
危険性ラベル : Corrosive
容器等級 : II
特別規定番号 : A3; A803

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩; D-リモネン; 水酸化カリウム
有害液体物質(Z類)
プロピレングリコールモノメチルエーテル; 3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール
有害でない物質(OS類)
水

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

プロピレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の496);

ポリオキシエチレンアルキルエーテル(別表第9,令和7年4月1日施行);

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(別表第9,令和8年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

プロピレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の496);

ポリオキシエチレンアルキルエーテル(別表第9,令和7年4月1日施行); D-リモネン(別表第9,令和7年4月1日施行);

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(別表第9,令和8年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)(8.5%)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ポリオキシエチレンアルキルエーテル(政令番号189 生態影響)

水質汚濁防止法

指定物質

水酸化カリウム

法令番号 8

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。